

調整の難しい幼児では体調への影響は大人の比ではない。もはやエアコンの設置を引き延ばしてはられない状態であり、早急に実施すべきと考えるが、現状をたずねる。

②幼稚園への給食開始について市は、新しい給食センターができてから始めるというものであった。しかし、近隣の自治体に比べ、本市は幼稚園の環境整備がおくれている。できるだけ早く栄養バランスのとれた幼稚園の給食を実施して、園児の心身豊かな教育づくりを望むが、どうか。

教育長 ①今年度は園児数の多い幼稚園2園について、実施設計、来年度に設置工事を行うこととしている。以後、年次的に設置を進め、平成29年度には完了させる予定である。

②調理室のスペースや器具数、調理員や配送、献立等の課題があり、やはり新しい学校給食センターで実施したいと考えている。

議員 北木西幼稚園については、隣の北木小学校が学校給食センターからの配送ではなく、自校方式をとっていることもあり、すぐにも実現できると考えているが、どうか。

教育長 検討したい。

危険度の高い空き家対策について

議員 以前空き家条例についての質問で市は、国の動向を見て検討するということ答弁をしたが、その後の経過と今後の対策をたずねる。

市長 昨年から編成している老朽危険家屋対策チームにおいて、これまで数回の協議を重ね、国の状況も注視しつつ条例制定に向け検討を重ねてきた。

今後とも国の状況を見ながら、条例草案をまとめ、パブリックコメントを経て条例案を作成し、今年度中には議会において審議していただきたいと考えている。

安心して高齢期を暮らせるまちづくりを求めて

議員 本市の孤独死を防ぐ見守り事業の現状についてたずねる。

市長 地域包括支援センター等と連携し、実態把握等に努めている。他に、緊急通報装置設置事業、命のバトン活動等に対応している。

奥野泰久議員



笠岡駅南北と港結ぶ歩行者用通路の建設について

議員 住吉港と笠岡駅は実は220mほどしか離れていない。このような地理的な資源を持つ駅というのは少ない。「港の駅笠岡」というキャッチフレーズを掲

げ、港の周辺を「街の顔」にすべく考えはあるのか。

市長 笠岡駅周辺整備事業の中で、費用対効果を考慮しつつ笠岡駅南改札口の設置、乗降口と駐車場整備、住吉港までの歩道整備等を検討していく。また、駅南北の連携についても、自由通路等について既存の地下道を含め検討し、駅を中心に住吉港の整備と整合性を図りながら、市の玄関としてふさわしい整備を目指したい。

西大島新田の浜中川周辺団地の防水管理について

議員 浜中川の現在の護岸についてはかなり老朽化しており、定住促進の観点からも、この護岸の改修は必要と考えているが、どうか。

市長 部分的な修繕は必要とするものの、現時点で緊急に改修を必要とする状況とは考えていない。しかし、水位の上昇問題

人口減少対策について

もあり、今後の河川改修計画を検討していきたい。

議員 浜中川一帯は、元来水田地帯であったものの、宅地化が予想され、本市の定住促進に資する非常に大事な場所と考える。ぜひこのことについては対応していただきたい。

議員 ここ数年1億円を突破するような定住促進に向けた投資が続いているが、その効果についてはたずねる。

市長 目標である社会動態の減少については、直近の平成25年度実績では目標200人減のところ、121人減と抑制され、一定の効果が上がってきている。一方で自然動態については、出生数の増加につながっておらず、死亡数の増大と相まって自然動態の減少幅は増大しており、総人口の減少に歯どめがかかっていないのが現状で、改めて対策を熟慮する必要がある。